

# あおもり漁連

資源有限漁業無限

No.

124



ブリの大漁で賑う深浦漁協市場

## CONTENTS

21世紀を拓くむつ湾漁業振興大会開催	1
青森県豊かな海づくり大会	3
東北北海道専務参事懇談会開催	5
青森県定置漁業協会、先進地視察研修開催	6
主な水産に関する動き（8～10月）	7
県内漁協紹介（深浦漁協）	8



定置網漁風景

2001 10

21世紀は漁村の時代

# 「ギョレンオイル大漁シリーズ発売30周年キャンペーン」 及び「資材キャンペーン」のご案内

全漁連では、「ギョレンオイル大漁シリーズ」が、今年で発売30周年を迎えることから、「発売30周年キャンペーン」を実施致します。また、わかしお石鹼等全漁連取扱商品を対象に「資材キャンペーン」も実施し、JFブランド商品のイメージ刷新と需要の掘り起こしを行い、系統購買事業の更なる発展を目指しております。そして、JFグループのブランド商品発売を記念して、漁協に備え付けの応募ハガキにより抽選で「素敵な賞品」を差し上げておりますので、奮ってご応募下さい。

## 『キャンペーン期間』

### 【ギョレンオイル】

平成13年11月1日から平成14年10月31日迄

### 【資材キャンペーン】

平成13年10月1日から平成14年9月30日迄

### 【お問い合わせ先】

青森県漁連 業務部購買課 017(722)4214



海には、JFマークの商品を。

ギョレンオイル「大漁シリーズ」発売30周年

クイズに答えると、素敵な賞品が当たる!

漁協系統の新しい統一呼称は  
**JFグループ**です。  
(ジェイエフ)



\*賞品の仕様は上記写真と異なる場合があります。

抽選で総計723名様にプレゼント

1等賞 ソニープレイステーション2 30名様 (10名×3回)  
2等賞 カシオGショック又は、Baby-G 90名様 (30名×3回)  
3等賞 オリジナルマグカップ 600名様 (200名×3回)  
特別賞 パールネックレス 3名様 (3名×1回)

・ギョレンオイル大漁シリーズ  
・わかしお石鹼  
・漁連ペイント

応募方法 右の応募ハガキ(50円切手が必要です)に必要事項を記入のうえ、ご応募下さい。

①第1期 平成13年11月1日(木)～平成14年2月28日(木)  
②第2期 平成14年3月1日(金)～平成14年6月30日(日)  
③第3期 平成14年7月1日(月)～平成14年10月31日(木)

当日消印有効

抽選方法 縦切日有効のハガキに対し、厳正な抽選のうえ決定します。  
(3回の抽選を行います。)  
なお、第3期の抽選終了後、応募者全員を対象に、再度抽選を行い特別賞を決定致します。

当選の発表は、賞品の発送をもってかえさせて頂きます。  
なお、賞品の発送先につきましては、所属漁協とさせて頂きます。



平成13年11月10日発行

◆発行◆

青森県漁業協同組合連合会

青森市安方一丁目1番地32号 TEL 017-722-4211(代)

◆印刷◆

不二印刷工業(株) TEL 017-741-5439

# 「21世紀を拓くむつ湾漁業振興大会」

## 持続的可能な漁業体制の確立を!!



主催者 挨拶をする三津谷会長

「21世紀を拓くむつ湾漁業振興大会」が去る9月25日、青森県水産ビルで開催された。

この大会は21世紀の漁業、漁村の方向を示す水産基本法が制定されたのを受け、基本法の精神にのっとり地域の問題を自らの手で解決していくこうという意気込みを示すため、むつ湾漁業者約400名が集結し行われました。

大会は、むつ湾漁業振興会の三津谷廣明会長が「むつ湾ほたて漁業は百億円産業として確立されてきたが、経済不況のあおりを受け大変厳しい状況に立たされている。近年、むつ湾のほたて養殖形態は変化し、半成

貝の生産増加に伴う過密養殖傾向にあり、今後の安定生産に不安を生じている。このような状況下にあって我々漁業関係者は一人一人が事態を再認識し、更なる努力をしていく必要がある」と現状の危機感を訴えるとともに、「今後も、むつ湾ほたて漁業の安定的な展開を行くためには、現在推し進めている良質・大型貝づくりの更なる推進へ関係者が一丸となり、むつ湾は運命共同体であるという基本理念に立ち、今こそ団結を図るべきである」と挨拶した。

来賓として、玉熊良悦県農林水産部長と植村正治県漁連会長が挨拶した後、大会に入り満場一致で次のとおり大会決議が行われた。



祝辞を述べる植村会長



大會風景

## 大会決議

むつ湾の漁業は誠に厳しい事態に直面しており、持続可能な漁業の構築と素晴らしい漁村づくりのために、抜本的な対策と漁業者自らの実践が強く求められているところであります。

特に、ほたて貝増養殖漁業は近年小型化、過密化の傾向にあり、適正養殖による「良質・大型貝づくり」は必ず成し遂げなければならない緊急課題であります。

また、漁村、漁場環境の整備、救命衣着用推進等は漁業者の実践も含めて更に一層取り組むべき重要課題であります。

このことから、本大会では各漁業者代表から熱意溢れる取り組みの状況報告がなされたところであります。

よって、この状況報告を踏まえ、むつ湾漁業者が一体となって実践し、関係機関の協力を得ながら下記事項の実現を期するものであります。

### 記

#### 1. ほたて貝の生産指導方法の遵守について

「むつ湾は一つ！」のもとに、むつ湾漁業者が一体となって生産指導方針を遵守し、適正養殖を実践し「良質・大型貝づくり」に取り組むこととする。

#### 2. 下水道の整備等漁村環境の整備促進について

漁業資源を守るために、下水道の整備拡充等、漁村環境の整備促進について関係機関に一層の要請活動を展開することとする。

#### 3. 無公害石けん「わかしお」使用促進運動の展開について

漁場環境の保全を図るため無公害石けん「わかしお」の使用実践促進キャンペーンを漁協女性部と連携を取りながら展開することとする。

#### 4. 救命衣着用推進運動の展開について

漁業操業の安全と海難事故防止の徹底を図るために、救命衣を漁業者自ら必ず着用する等の「救命衣着用推進運動」を展開することとする。

#### 5. 国、県等関係機関に対する諸要請活動について

持続可能なむつ湾漁業の構築のため、諸課題の実現について国、県等関係機関に対し要請活動を展開することとする。

以上決議する。

平成13年9月25日

21世紀を拓くむつ湾漁業振興大会

## ほたて半成貝等生産指導方針

むつ湾漁業振興会・ほたて部会（H8・9・17全体協議会決定事項）

### 指導目的

むつ湾内におけるほたて貝の適正養殖の推進を図ることによって、むつ湾ほたて貝養殖漁業の恒久的発展と養殖漁業者の生活安定に資する。

### 新貝用

パールネット一枚当たりの収容枚数を十枚以内とすること。  
(二次分散時)

### 稚貝の採取

稚貝の採取は、できるだけ少なくするよう指導を徹底すること。  
(一次分散時)

### 地まき貝用

パールネット一枚当たりの収容枚数を二十枚以内とすること。  
(二次分散時)

### 半成貝用

パールネット一枚当たりの収容枚数を十五枚以内とすること。  
(二次分散時)

### ゆとりあるほたての住居づくり

(H10・8・17 ほたて関係組合全体協議会で決定追加事項)  
各漁業者は、半成貝・新貝についてはパールネット一枚当たりの収容枚数を一枚減らすよう努めること。



祝辞を述べる木村県知事

平成十三年度 青森県豊かな海づくり大会は、水産資源の維持及び漁場環境の保全についての認識をより一層深めるとともに、森、川、海とつながる自然の大切さをアピールすることを目的として開催されました。



祝辞を述べる秋田県議会議長



主催者 挨拶をする植村会長

本大会は、平成二年三沢漁港において開催された第十回全国豊かな海づくり大会を記念し、平成三年度より県内各海域を代表する漁港で取り進めており、平成十三年度青森県豊かな海づくり大会は、去る九月三十日（日）青い海公園（アスパム海側）において、県内の各漁協や水産団体関係者約二百五十人が参加のもと、盛大に開催された。

大会は、平内町立茂浦小学校の生徒達による「ほたて太鼓」でオープニングセレモニーが始まり、植村正治大会実行委員会会长は、「二十一世紀は自然と共生の時代、資源有限・漁業無限を標榜し、地方の時代の核として、漁業・漁村を確立するため頑張りましょう」と主催者を代表して挨拶を述べ、来賓の木村守男県知事、秋田恆則県議会議長の祝辞の後、本県水産業で他の模範となるような優れた実績を上げている個人や団体を表彰する「青森県水産大賞」が、一個人一団体に贈られた。

このほか、平内町漁協青年漁業士の田中哲也氏が「私はホタテの育ての親」、森林組合あおもり参事の竹内義美氏が「森を育てる」、小泊漁協婦人部長の駒井昭江氏が「浜の美化運動」と、それぞれ「浜の声」の取り組みを発表した。また、県漁港協会より大会実行委員会を通じて「漁港美化運動を推進するための支援をしたい」とのことでの寄贈された寄付金を、青森県女性組織協議会へ「浜の美化運動助成金」として贈呈。

最後に、古川俊大会実行委員会副会長が大会決議を朗読し、満場一致で決議された。

また、水産資源維持と漁場の環境保全を願い、幼稚園児外大会参加者がヒラメとクロソイの稚魚を陸奥湾に放流した。

# 平成十三年度 青森県豊かな海づくり大会

## あおもり漁連

漁協一丸となつて外海ホタテガイの増殖を行つているほか、宅配便とインターネットを活用した販路拡大で沿岸漁業の振興に寄与している。

野牛漁協  
(三國優代表理事組合長)



漁業の担い手として女性の地位向上に努めているほか、海兵清掃等の環境保全やホタテガイの消費拡大に取り組み、漁協女性部の活動を支えている。

細川慶子

(青森県漁協女性組織協議会副会長)



☆青森県水産大賞受賞  
個人及び団体



稚魚放流



青森県水産大賞受賞の個人及び団体



ほたて太鼓



大会風景

### 平成13年度 青森県豊かな海づくり大会 大会決議

本県は日本海・太平洋・津軽海峡、更にむつ湾という豊かな海を有すると共に、世界遺産の白神山地に代表される豊かな森林にも恵まれている。

豊かな森林が育んだ清浄な水は、「やがて集まり川となって海へと注ぎ込み、生命の源となって多くの魚や貝を育てている。

我々海に恩恵を受ける者にとって、海をきれいに、そして豊かにすることは責務であり、使命感をもって取り組み、同時に水を守るため、森林を育てる取組も行わねばならない。

我々は、水産基本法の理念に基づき、

1. 渔港・漁場・海岸の清掃及び漁村におけるトイレの水洗化、生活雑排水の処理等に関する整備を推進する。
2. 緑化等による漁港の美化運動を推進する。
3. 国民の食料たる水産物の安定供給を図るため、水産動植物の増養殖を推進する。

よって、平成13年度青森県豊かな海づくり大会の開催にあたり、私たち県民が一丸となつて漁場環境の保全と魅力ある住み良い漁村の生活環境を構築し、21世紀の豊かな海づくりに向けて邁進することをここに決議する。

平成13年9月30日

青森県豊かな海づくり大会実行委員会

## 東北・北海道漁協専務参事懇談会 開催



主催者挨拶を述べる佐藤会長

平成十三年度、東北・北海道漁協専務参事懇談会が八月二十一、二十二日、盛岡市「ホテル大観」で、各道県の関係者約百六十人が出席し開催された。

冒頭、主催者を代表して岩手県漁協専務参事協議会の佐藤会長が「水産物の輸入増大により魚価の低迷等を招き、漁家の経営は益々深刻な状況にある。これらの解決のためには漁協系統が協力し対策を講じることが重要」と挨拶。

また、参加道県を代表して北海道漁協専務参事会の細川会長が「魚価安、景気の低迷等により漁業環境は、大変厳しい状況にある。漁協経営の実務者として専務・参事の役割責務は益々重要なと見て

いる」と述べた。その後、全漁連北川組織強化部長が「水協法等改正の動向について」と題して基調講演を行なった。

また、全体懇談会では事例発表が行なわれ、北海道木古内漁協・三上専務が「漁業と遊漁の漁場利用協定の取組みについて」、宮城県漁連県密漁防止対策本部・福田事務局長が「密漁防止対策資金の創設について」、岩手県広田町漁協・清水参事が「わかめ生産における協業化について」、そして本県からは、十三湖漁協・相坂参事が「漁場環境の保全と十三湖の漁業について」それぞれ発表した。

相坂参事は、全国でも有数のシジミ漁場である十三湖の隣接地に計画されるごみ処理場建設に対し、対策本部を設置し総決起大会や関係先への要望書提出等、粘り強く反対運動を行なってきた経緯を報告、建設を進める環境整備事務組



事例発表する相坂参事

合との話し合いは「未だ物別れ状態」との発表をした。

最後に、共通提案事項として提案者の岩手県漁協専務参事協議会・山崎副会長が「密漁等漁業関係法令違反に対する罰則強化について」提案、犯人らを捕らえて告訴し裁判をおこしても、漁業調整規則の罰則が軽いため訴訟をしている間に釈放されてしまうため、密漁に関する罰則規定の強化を要請、満場一致で採択され閉会となつた。

# 青森県定置漁業協会先進地視察研修開催

青森県定置漁業協会（西崎会長）は毎年開催している研修の一環として、去る七月三十一日から八月二日に亘って先進地視察研修を開催し、宮城県牡鹿町の日本鯨類研究所鮎川実験場並びに牡鹿漁協、石巻市の石巻魚市場株式会社を訪問しました。参加者は当協会の十一名会員他、十四名が参加し行われました。

鮎川実験場での研修内容は七月一日より指定漁業の許可及び取締りに関する省令の一部が改正され、定置網に混獲されたひげ鯨等（ミンク鯨など）の利用が混獲の報告とDNA分析などをを行うことを条件として可能となりました。標本送付先の鮎川実験場で行われているDNA分析等を見学し、後藤資源分類研究室長より日本沿岸でみられる鯨種や捕食量・漁業についての影響等についての調査等の説明を受けました。



意見交換会（牡鹿漁協）

東北太平洋側の巻網船の操業ラインの沖出しを実現させたい等の意見が出ました。石巻魚市場株式会社では色川元会長より市場内の施設・システムの効率化、並びにHACCP方式を導入した衛生面での安全対策の対応等についての説明がありました。



石巻魚市場の視察風景

# 主な水産に関する動き

八月

二十一日（金）

- ・沖合底引き漁業者との意見交換会

一日（月）

- ・青森県定置漁業者協会、全員協議会

五日（金）

- ・日本海地区漁業者協議会（鰺ヶ沢町）

七月三十一（火）～八月二日（木）  
・青森県定置漁業者協会、先進地視察研修  
(宮城県)

八日（水）

- ・ホタテガイ養殖業全国推進検討会

(東京都)

- ・イメージ刷新運動全国ブロック説明会

(青森市)

十日（金）

- ・青森県魚市場協会、総会（青森市）

- ・資源回復計画に係る説明会（青森市）

二十一日（火）～二十二日（木）  
・東北北海道漁協専務参事懇談会  
(盛岡市)

二十七日（木）

- ・太平洋地区漁業者協議会（むつ市）

- ・遊漁業船業適正化連絡協議会設立に係る協議会（むつ市）

二十八日（金）

- ・むつ湾地区漁業者協議会（青森市）

- ・遊魚船業適正化連絡協議会設立に係る協議会（青森市）

二十九日（木）

- ・むつ湾漁業振興会青森県農林水産部陳

- ・情（青森市）

三十日（日）

- ・平成十二年度青森県豊かな海づくり大

- ・会（青森市）

九月

六日（木）

- ・青森県水産業改良普及会、漁業研究現地視察（蓬田村）

十七日（木）  
・日本海サクフマス種苗放流事業に係る漁業推進協議会（東京都）

十月

十一日（金）

- ・さけ海産親魚に関する現地協議会（深浦町）

十五日（火）～十七日（水）

- ・合併等全国会議並びに合併実務研修会

二十日（木）

- ・全国資源管理推進会議（札幌）

- ・全国豊かな海づくり大会（焼津市）

## 県内漁協職員紹介

### ◆ 深浦漁協 ◆

#### 深浦漁協職員プロフィール

1. 氏名
2. 担当業務
3. 趣味・特技
4. 自己PR

1. 横岡 正彦
2. 総務課長
3. 釣り、サザエ取り
4. 大小かわらずクロダイを一度いいから釣ってみたい。



1. 佐々木 透
2. 製氷係兼販売係
3. I・モード
4. きれい好きです。



1. 坂本 典子
2. 総務係長
3. スポーツ
4. 仕事が休みの日はゆっくりのんびりと過ごしてみたいです。



1. 熊谷 孝一
2. 信用課長
3. 読書(推理小説)
4. 別になし



1. 中川 善文
2. 購買課長
3. 金魚(ランチュウ)養殖
4. 毎朝、犬の散歩で健康第一



1. 竹越 仁
2. 経理課長
3. サザエを食べる事
4. 貝類なら自信あります。



1. 中川 文雄
2. 販売課長
3. 酒(特にダルマ)
4. 仕事の終った後の酒がまたうまい!!



1. 二階 晃
2. 販売係
3. パチンコ
4. 何事もマイペースで…



1. 山田 昌弘
2. 購買係長
3. ゴルフ、パチンコ少々
4. 見たまんまで~す!!



1. 干崎 一夫
2. 経理係兼共済係
3. パチスロ
4. 不調です。



1. 黒滝 則昭
2. 製氷工場長
3. 読書
4. 早寝



1. 増富 伊津子
2. 信用係
3. 読書
4. おちつきがない



1. 村上 信勝
2. 製氷係兼購買係
3. 山歩き時に山菜取り
4. 特になし



深浦漁協



深浦町は本県西海岸の中央部に位置し、世界遺産・白神山地の北ふもとに広がる総面積三万一千ha、人口九千人の漁業と農林業の町です。今回は、北前船の風待ち湊として古くより栄えた歴史を持ち、変化に富んだ海岸線美と夕日の美しさが自慢で「夕陽海岸ふかうら」をキヤツチフレーズにしている深浦町の深浦漁協の皆さんを紹介致します。

あおもり漁連